

令和2年第2回(3月)定例会 一般質問

議員名：大泉 日出男

質問事項1：予測不能な自然災害に対する防災・減災について

質問要旨：

昨年の10/12,13に来襲した台風19号の避難勧告が発令、7ヶ所、約800人331世帯が避難を余儀なくされました。その際に災害に強いまちづくり会長として要望書を提出させていただきました、その時の4項目を含め以下ご質問致します。

1. 防災ラジオの導入について、予算的な部分で直ぐの検討までは難しいとの事でしたが、何か進展、進捗はありましたでしょうか。
2. 電柱等に洪水ハザードマップは防災意識の可視化により、「浸水深」を表示する事は前向きに検討するとの市長の答弁があり、施政方針には『水害に対する危機意識醸成の為、電柱に浸水深を表示する「水害関連標識」の設置を進めると述べられています。具体的な設置時期、設置個所はどの様にお考えかお聞かせ下さい。
3. 避難所指定の体育館にエアコンを設置、環境改善、TKB(トイレ、キッチン、ベッド)簡易型の導入ですが、予算規模的に大変な事業ではあると思いますが、どの程度までいけば方向性がつくのか、わかる範囲でお教え下さい。
4. 当市始まって以来、約800名からの避難者を避難所に受け入れることとなりました。特に中曽根小学校では約400名が避難されたと聞いております。避難訓練とは違い現実の避難者受け入れを経験したわけであります。避難受け入れの状況(避難所ごと、要支援者含め)、避難者の過ごし方、避難者の主な声、今後への課題等をお聞かせ下さい。

答弁を求める者：市長・担当部長

---

質問事項2：まちの価値を高める新たな競争力、成長を生み出す経済産業政策について

質問要旨：

1. 新型コロナウイルスの影響により、中国からの輸入品(野菜、原材料、加工品等)を取り扱う中小零細企業の資金繰りが急速に悪化しているとの報道がなされています。当市に於いてそのような声を聴いていますか、また今後何らかの対策は考えていますか。
2. 商業の活性化を含めて具体的にどのような競争力を検討されているのか、お聞かせ下さい。
3. 公明党では、政府と連携し、中小企業後継者の課題について、人材不足、資金不足、心配が予想される中で、円滑な継承を促す税制の創設、拡充をすすめてきており、譲渡の際には慣例として経営者に求められてきた個人保障を、不要とする予算措置を設ける事を可能としましたが、このような情報を経営者にお知らせをしていますか。またその利用進捗状況をお教え下さい。実施済であればその反応、感想をご説明お願いします。
4. 人口減少にむけて、新しい競争力を生み出し、若い世代に希望をひらいていく必要があると考えます。次世代通信規格「5G」によって大容量の情報のやりとりができる画期

的な時代が始まる中、新産業を生み出し、雇用を作り、人材を育てることにつながっていくと考えますが、吉川市内で今現在のご所見を伺いたいと存じます。

5. 商業活性化にむけて今後、吉川市プレミアム商品券の検討と効果、導入についてお聞かせ下さい。
6. 住宅改修費補助金について、施政方針では「補助金総額を増額する」とありましたが、現在の利用限度額より増額するという考え方でよろしいでしょうか。その際の実施期間についてもお教え下さい。

答弁を求める者：市長・担当部長

令和2年第2回（3月）定例会 一般質問

担 当：市民生活部危機管理課 内線2051、2052

議 員 名：大泉 日出男

質問事項：予測不能な自然災害に対する防災・減災について

質問要旨：昨年の10/12, 13に来襲した台風19号の避難勧告が発令、7ヶ所、約800人331世帯が避難を余儀なくされました。その際に災害に強いまちづくり会長として要望書を提出させて頂きました、その時の4項目を含め以下ご質問いたします。

- 1、防災ラジオの導入について、予算的な部分で直ぐの検討までは難しいとの事でしたが、何か進展、進捗はありましたでしょうか。
- 2、電柱等に洪水ハザードマップは防災意識の可視化により、「浸水深」を表示する事は前向きに検討するとの市長の答弁があり、施政方針には『水害に対する危機意識醸成の為、電柱に浸水深を表示する「水害関連標識」の設置を進めると述べられています。具体的な設置時期、設置個所はどの様にお考えかお聞かせ下さい。
- 3、避難所指定の体育館にエアコンを設置、環境改善、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）簡易型の導入ですが、予算規模的に大変な事業ではあると思いますが、どの程度までいけば方向性がつくのかわかる範囲でお教え下さい。
- 4、当市始まって以来、約800名の避難者を避難所に受け入れることとなりました。特に中曽根小学校では約400名が避難されたと聞いております。避難訓練とは違い現実の避難者受け入れを経験したわけであります。避難受け入れの状況（避難所ごと、要支援者含め）、避難者の過ごし方、避難者の主な声、今後への課題等をお聞かせ下さい。

口 述 案：

1点目のうち1番目の「防災ラジオの導入についての進展、進捗」についてでございますが、現在、市ではコミュニティFMの周波数を活用した放送方法などの導入についての可能性などの研究を進めているところであり、市民の皆様には避難情報などを伝達させるための費用対効果の高い情報伝達手段について、継続して調査研究を進めてまいりたいと考えております。

2番目の「水害関連標識の具体的な設置時期、設置個所」についてのうち、設置時期についてでございますが、できるだけ早期の設置を目指してまいりたいと考えております。

また、設置箇所につきましては、指定避難場所及び市民の目に止まりやすい幹線道路周辺の電柱37箇所に設置を予定しております。

3番目の「避難所指定の体育館にエアコンを設置、環境改善、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）簡易型の導入の方向性について」のうち空調設備の設置につきましては、指定避難所の良好な生活環境を確保するために重要であると認識しております。しかし、指定避難所の空調設備の設置においては、緊急防災・減災事業債の活用や運用を見極める必要があり、具体的な導入の方向性については現段階でお示しが困難な状況でございます。

TKBに関しては、避難所生活の中において重要な視点であると認識しており、市では、市内小中学校体育館のトイレを洋式化したほか、必要に応じ、応援協定団体を通じて調達するなど良好な生活環境を確保できるよう努めてまいります。

4番目の「避難受け入れの状況、避難者の過ごし方、避難者の主な声、今後への課題等について」のうち「避難受け入れの状況」についてでございますが、台風19号では市内8か所の指定避難所を開設し、それぞれ旭小学校35名、三輪野江小学校29名、中曽根小学校399名、中央中学校137名、中央公民館122名、吉川小学校48名、平沼地区公民館1名、児童館ワンダーランド23名の計794名を受け入れた状況でございます。

また、要支援者の受け入れ状況につきましては、福祉避難所である児童館ワンダーランドでは3名の要支援者の受け入れを行いました。また、平沼地区公民館では、車いすを利用された要支援者の方が1名避難されましたが、本人のご意向を確認した上で、一般避難者と同じ避難場所である吉川小学校2階の多目的室へ職員がお連れした状況でございます。

「避難者の過ごし方」につきましては、家族や知人同士で過ごされていた状況でございます。

また、「避難者の主な声」につきましては、避難者の多くは飲食物や日用品などの備蓄品を携行せずに避難されていたこともあり、クッション性のある敷物や毛布、飲食物の提供に対する要望があったほか、台風に関する情報についての問い合わせがあったと

ころでございます。

「今後への課題等について」でございますが、備蓄物資や避難所への職員配置など水防体制の見直しを図るとともに、避難所開設及び運営にあたっては、自主防災組織など地域の方々が中心となった運営の必要性があると考えております。また、避難した方の多くが、飲食物等を携行していない状況でございましたので、自助の観点から避難者が食料品や日用品など最低限の備蓄品をご準備いただくことが必要であることを啓発してまいりたいと考えております。

令和2年第2回(3月)定例会 一般質問

担 当 : 産業振興部商工課 内線2208

議 員 名 : 大泉 日出男

質問事項 : まちの価値を高める新たな競争力、成長を生み出す経済産業政策について

- 質問要旨 : 1. 新型コロナウイルスの影響により、中国からの輸入品(野菜、原材料、加工品等)を取り扱う中小零細企業の資金繰りが急速に悪化しているとの報道がなされています。当市においてそのような声を聴いていますか、また今後何らかの対策は考えていますか。
2. 商業の活性化を含めて具体的にどのような競争力を検討されているのか、お聞かせください。
3. 公明党では、政府と連携し、中小企業後継者の課題について、人材不足、資金不足、心配が予想される中で、円滑な継承を促す税制の創設、拡充をすすめてきており、譲渡の際には慣例として経営者に求められてきた個人保障を、不要とする予算措置を設けることを可能としましたが、このような情報を経営者にお知らせをしていますか。またその利用進捗状況をお教え下さい。実施済みであればその反応、感想をご説明お願いします。
4. 人口減少にむけて、新しい競争力を生み出し、若い世代に希望をひらいていく必要があると考えます。次世代通信規格「5G」によって大容量の情報のやり取りが出来る画期的な時代が始まる中、新産業を生み出し、雇用を作り、人材を育てることにつながっていくと考えますが、吉川市内で今現在のご所見を伺いたいと存じます。
5. 商業活性化に向けて今後、吉川市プレミアム商品券の検討と効果、導入についてお聞かせ下さい。
6. 住宅改修費補助金について、施政方針では「補助金を増額する」とありましたが、現在の利用限度額より増額するという考え方でよろしいでしょうか。その際の実施期間についても教えて下さい。

口 述 案 :

2点目の「経済産業政策」のうち1番目の「新型コロナウイルスの影響について」でありますが、現在、中国製品の影響による業績悪化の声は聞いておりませんが、今後、

事態の長期化が進むことになった場合、業績へ影響が出る可能性があることから、商工会等各種団体と情報共有を図りながら対応してまいりたいと考えております。

次に2番目の「商業の具体的な競争力について」でございますが、これまで、一店逸品事業や大吉ブランドの創設、ものづくりアワードの認定などを行い、事業所や製品・商品の魅力向上を図ってまいりました。今後につきましてもこれらの取り組みを継続するとともに、産業振興計画の基本方針にもありますように、農・商・工の連携による産業振興を進め、商業の活性化につなげていきたいと考えております。

次に3番目の「中小企業の事業承継について」でございますが、現段階で市内事業者から事業承継の相談は寄せられておりませんが、昨今、事業承継が問題視されていることは認識しております。令和2年度には新規事業として事業承継セミナーを予定しており、議員ご指摘の国の税制も含め事業承継の在り方について、セミナーをとおし周知してまいりたいと考えております。

次に4番目の「次世代通信規格5Gについて」でございますが、現在、市内産業において導入を見据えての動きは把握しておりませんが、農業部門などをはじめさまざまな利活用が期待されますので、今後の動向に注視してまいります。

次に5番目の「吉川市プレミアム商品券について」でございますが、今のところ導入の考えはありませんが、今回のプレミアム付商品券事業に伴う国の動向や他市町村の導入事例など調査・研究してまいります。

次に6番目の「住宅改修費補助金について」でございますが、令和2年度当初予算の増額分につきましては、限度額10万円を増額するものではなく、補助金の総額を増額したものでございます。実施期間につきましては、6月ごろの受付を予定しており、3月中旬までに住宅改修を完了していただくこととなっております。

今後も市内事業所の活性化と市民の住環境・利便性向上に努めてまいります。

以上でございます。